

編集 日本うたごえ実行委員会
発行 うたごえ新聞社
東京都新宿区西大久保3の67
電話 5220-1

1カ月 30円(干共)
3カ月 90円、6カ月 180円、1年 350円

うたごえは平和の力

安保破壊・全面軍縮のうたごえを
国のすみずみに

うたごえ新聞

全国の皆様に 新年のあめを こまごま お届けします

一九六二年

元旦

関鑑



1961年
日本のうたごえ祭典特集

皆様を御挨拶いたしました。一九六一年日本のうたごえ祭典の大成功は、皆様が日
昔困難な時を乗り越え、活動なされたことによるものではないと思いま
す。特に中心合唱団の倍加活動の達成、三杯のうたごえの実現が日本のうたごえ運
動の質を高め、活動の場を拡大し、非暴力の立場を堅持し、日本を第一番の一日た
たき、皆様に喜ばれたことによるものではないと思えます。

唱「日本の夜明け」の成功にこのことは明らかと実現されたと思えます。
来年は日本のうたごえ祭典の十周年を迎えますが、十周年記念として大事を推
進したいと思います。

一九六二年日本のうたごえ祭典は、安保破壊のうたごえを更に高め、日本を平和の道で、スローガンの下に、十二月八日から二十一日迄四日間、全国三万名の仲間が参加し、東京で開幕した。祭典は安保・三杯を中心とした国民の歴史的な闘いに引続いて、政界、合理化、基地反対の闘い等の国民の前進が表れ、全国の間連連の一年の活動が生き生きと描きだされた。

「二九六二年日本のうたごえ祭典」初めて差別・地域合唱団と中心合唱団に分れて発表会が行われ、中心合唱団は賛曲がもうけられた。発表会には中心合唱団の倍加活動の成果が反映し、演奏の前進が見られ東武信用金庫、たう会等の職場・地域のうたごえの典型が示された。(詳細は面掲載)

創作発表会(九日久保講堂)参加者千四百名、参加団体三千団、大阪合同の「政界法」が注目され、「和歌山ミールの基地反対組」が参加した。

創作発表会(九日久保講堂)参加者千四百名、参加団体三千団、大阪合同の「政界法」が注目され、「和歌山ミールの基地反対組」が参加した。

創作発表会(九日久保講堂)参加者千四百名、参加団体三千団、大阪合同の「政界法」が注目され、「和歌山ミールの基地反対組」が参加した。



日本を平和のとりでに築こう!